

同窓會報

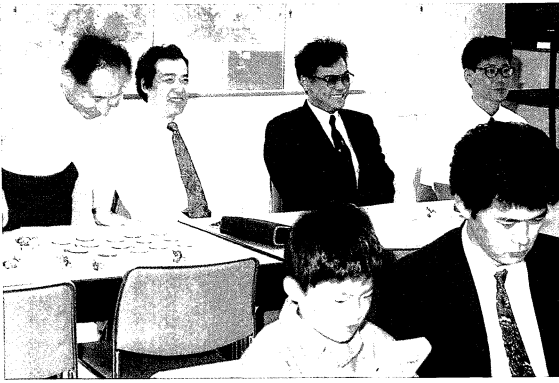
第十五号

会 局 部
同 窓 會 報 編 集 部
編 集 同 事
発 行 会 報

学校通信合併号

”北友館“で総会開く

平成七年、第十八回総会は、久しぶりに母校で開催しました。五月二十八日(第四日曜)午後二時開会。創立二十周年記念の一つとしてセミナーハウス(合宿施設)が完成、「北友館」と命名



されたこの施設一階の研修室が会場です。学校を代表して福澤徳治校長はじめ五名の先生方、また、名誉顧問の元校長、林常久先生、関本克己先生そして、お近くにお住まいの高橋正先生、林秀一先生、石井希佳先生といった旧職員の先生にも特別にお願いしました。総会では、記念事業実行委員長に妹尾会長が就任することが報告され記念事業の具体案が承認されました。

このあと施設見学を、林陽一教頭にお願ひし、一般会員約二十名が二階の和室などを見てまわり、再び研修室で立食懇親会へと移りました。名誉顧問の関本先生から「中学卒業生激減期に入り、公立高校存亡の時を迎えた。同窓生の協力をもって母校の発展の為に尽くしてほしい」との激励を頂き、短い時間ではありましたが、無から有を創ったあの時を懐かしんだのは私一人ではなかったでしょう。(事務局土屋)

「母校20周年記念事業の成功に向けて」

会 長 (創立20周年実行委員会会長)

妹 尾 篤 人



昭和五十年四月の開校以来、早いもので、母校が創立二十周年を迎えました。

この間に、千葉北高の卒業生は八千名程に達しております。同窓会会員の皆様には、同窓会報を始め、定期総会、幹事会、OB会連絡協議会等において、既にお知らせしておりますが、本年十一月十八日に千葉北高創立二十周年記念式典を行う運びとなりました。

現在、母校の教職員、PTA、後援会の役員、そして同窓会の役員により構成される、「千葉県立千葉北高等学校創立二十周年記念事業実行委員会」により具体的に進められております。

今回行う当日の式典の内容、記念講演、祝賀会、記念誌の内容等につきま

しては、「学校通信」の紙面で、白井先生が詳しくお書きになっておりますので、ここでは省略させて頂きます。福澤校長先生を始めとする教職員の方々のご努力、PTA、後援会の皆様のご協力により、二十周年として立派な内容となっております。

同窓会としましても、二十周年記念事業を成功させるために、できる限りの協力を行っているところでありま

す。二十周年を迎えるにあたり、今年三月には、セミナーハウス「北友館」が県費により完成しております。セミナーハウスの完成は、同窓会としても長年の夢が実現したという喜びで一杯です。この「北友館」の一階ロビーに、卒業アルバムから選んだ卒業生全員の写真をパネル展示致しました。

また、祝賀会も校長先生のご配慮により、卒業生が出席できるように、今回お知らせしている形をとりまして、卒業生の数多くの参加をお待ちしております。

九月十日(公開日)に行われます「北斗祭」におきましても、二十周年事業への後援事業等が予定されております。母校の現在の姿を見て戴くためにも、是非、ご来校下さい。

千葉北高創立二十周年事業が成功するためにも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

吹奏楽部OB会

春、わが母校千葉北高校吹奏楽部の定期演奏会の季節がやってきた。

私が部長をやらせて頂いていた現役当時、顧問の反対を押し切って第一回の演奏会を企画した。そして一九八四年四月一日、小雪の舞う中、四期の鷹取、小塚先輩らのOBの全面的な協力で、第一回演奏会を千葉市民会館で開催した。卒業後も、私はこの季節になると、現役当時を懐古するように毎年欠かす事なく演奏会に足を運ぶ。今年も、四月二十三日、十二回目の演奏会がいつもの千葉市民会館で行われた。

OB会だより

定期演奏会は、吹奏楽部のOBにとつては現役部員の活躍を聴く事のできる最大の行事であるが、残念ながら年々、仕事、結婚に伴う転居等で古いOBはほとんど顔を出せないのが現状である。しかし、若いOBの舞台裏での活躍により、昔ながらの乗りの良いステージが繰り広げられて

吹奏楽部OB会は、毎年の演奏会、

合宿等での現役部員への積極的な援助を目指して、二期生の吹奏楽部創設者の川島幸子先輩を会長として組織されている。毎年総会、懇親会の開催やOB会通信の発刊によって現役部員の活躍、OBの近況報告などを行っている。今春、十八期生を会員に迎え総勢一四五名となった。私がOB会の活動で印象深いのは、一九八七年、千葉北高校吹奏楽部が創設以来初の関東大会出場を果たした時のことである。県文化会館において、県代表決定の瞬間を現役部員と共にOBも涙し、その後、関東大会出場を祝し、OB会で十万円を超える寄付を集め、現役に楽器購入の援助をすることができた。そして、十数名のOBで関東大会の行われる、前橋に泊まり込みで応援に行つたことが思い出される。しかし、年々、現役部員との年齢が離れていくに従い、一番の目的である援助ができていないように思う。これが今後の課題であろう。

現在私は、社会科の教員として高校に勤務し、吹奏楽部の顧問を持たせてもらっている。母校とは違い十数名のバンドであるが、野球応援、コンクール、文化祭等、ふと気がつくと思ひ出深い私の高校時代そのままなのである。

八期生 野々宮 司

(県立沼南高柳高校教諭)

北窓

昭和五十年四月一日、大学を卒業して七日目に、私は千葉北高等学校の国語科教諭として着任しました。今から思うとあまりにも未熟で、冷汗が出てきます。半人前にもいたらなかった私を支えて下さった先生方に、そして下手な授業に耳を傾けてくれた生徒たちに、心から感謝しています。ありがとうございました。

あの頃は二十二歳、生徒は十五歳、たった七つしか違つていなかったのですから、他の先生方に比べさぞかし頼りなく見えたことでしょう。その一期生の中から、教師になつた方が何人もいてくれたことは感慨無量のものがあります。私のような者でも何とか勤めていたことも励みになったのかも知れませんね。

無我夢中の八年間

旧職員 伊藤 宏子
(現千葉女子高校教諭)

国語科の先生方との研修旅行など。若さだけがとりえだったのでしょうか、キャンプの引率は一年目、二年目、三年目、五年目と写真があります。一年目は奥多摩でハイキング、二年目以降は裏磐梯で磐梯山登山。大学時代に山登りのサークルに入っていたとはいえ、年々生徒との年齢差はひらいていき、五年目で初めて担任を持ったときには、流石に後からやと着いていったように覚えていきます。北高キャンプは「飯盒炊さん」がそのモットーで、献立指導に始まり現地での薪の焚き付けや調理指導、男子の班についてお焦げのご飯に半生の焼肉を食べたこともありました。翌年からは、先生方は生徒とは別に自分たちで作ったように記憶しています。平成七年の今では、こうした形でのキャンプはもう残っていないことでしょう。

先生方との旅のスナップでは、今は亡き牧野先生や廣川先生も写っている東北の文学散歩(昭和五十一年)は感慨一入です。また子供が生まれてからの学年旅行や国語科の旅行には、必ず私だけが子連れ参加で、小さな男の子が写っています。この子ももう高校二年になりました。

写真の中で最も多いものは、やはり旅先のスナップです。生徒を引率してのキャンプ、修学旅行、山岳部の山行、バレー部の合宿、先生方との学年ご苦労さん旅行(解散旅行とも言いますね)、

振り返ってみるとあつという間の八年間でしたが、現在、教師生活二十一年目の私の原点が千葉北高校にあるのです。

千葉北高の20周年を保護者の方々、同窓生の皆様方と共に慶び新たな出発の節目にしたいと考えます。

是非多くの方々への御臨席をいただきたく紙面を借りてお願い申し上げます。

式典にご出席ください。

日時：平成七年七月六日(土)

場所：千葉北高体育館

内容：・式典

・記念演奏

ソプラノ独唱

第15期生

伊藤久美子様

・記念講演

Jリーグチエマン

川瀨三郎氏

出席希望の方は当日ご来校ください。

祝賀にも出席ください。

日時：平成七年七月六日(土)

場所：ロイヤルプラザホテル

(JR千葉駅より徒歩5分)

保護者、職員、同窓生をはじめ千葉北高関係者の懇親の場です。本校卒業生に

司会をお願いしてありますし楽しい企画も準備中です。当日出席予定の旧職員は下記の通りです。

尚、恐縮ですが、会費制での開催にご協力をお願い致します。

20周年記念誌を発行します。

誌名は「高き理想を求むるは」で、

校歌よりいただきました。

千葉北高をコンパクトに納めた内容を

考えましたので是非一冊お手元に置いて

いただきたいと思います。

内容

第一章 躍動の軌跡

20年目から11年目までの懐かしい記録や青春の輝く瞬間を

掲載し、先輩や後輩の時代が見える。

第二章 新たな礎を求めて

10周年記念誌より抜粋。北高の黎明

期・ルート・スピリッツを発見。

第三章 千葉北高の現在と将来

20年目の北高を紹介しします。

第四章 資料編

資料で北高を見る。

第五章 20周年企画

パネルディスカッション「千葉北高

校とは何ぞ？」の記録。

付随事業：国際理解教育の報告

後援事業：カルチャー教室

PTAバザーについて

記念誌購入希望の方は北高の係までご

連絡ください。振込み用紙を送ります。

送料込みで一冊一、五〇〇円です。第

17、21期生までは誌代の一括納入をし

ていただいております。

また、既にお振り込みいただいた皆様

ありがとうございます。いずれも1月

下旬までには自宅にお届けいたします。

千葉北高創立20周年記念のご案内
20周年を慶び、新たな出発に向けて！
20周年記念事業実行委員会より

20周年記念式典並びに祝賀会出席者(主職員)	
林 常久、関本勝巳、泉水信広、大沼栄一、猪股 俊二、	猪股 俊二、
滑川恒寿、野口恒雄、吉野光好、横川雪枝、大又一雄、	大又一雄、
高橋 正、津島健志、萩原栄子、石松礼子、小田 守、	小田 守、
伊興田勇、高野福代、高梨宣夫、菱本道人、小山光一、	小山光一、
福原光子、原 正治、権名郁子、篠原 伸嘉、	篠原 伸嘉、
高野瀬敏之、緑川好美	
20周年記念式典のみの出席者(主職員)	
安田 优、吉田はるみ、本多高世、矢田節男、	
山田光太郎	
祝賀会のみ出席者(主職員)	
羽生正允、五木田純、下重恒夫、鈴木信利、須藤信夫、	須藤信夫、
三木貞夫、福石敏昭、菊地 茂	(敬称略)

20周年でセミナーハウスも完成

20周年を記念して県教育委員会よりセミナーハウスを新築していただきました。

八十名程が宿泊出来るセミナーハウスを『北友館』と、北高に集う者を象徴した名称にしました。この20年の歳月と千葉北教育のひとつの節を『北友館』に感じます。

象徴すべく、まさしく同じ釜の飯を食い、共に研究、演習を重ねて、千葉北高が大きく飛躍出来るものと信じております。同窓生や保護者の方々集まりにもご利用ください。

20周年記念事業実行委員の紹介

左記の方々にお集まりいただき昨年度より準備を進めております。

1.会長 1名 妹尾篤人…同窓会会長	4.会計 5名 加田和子…PTA副会長 渡辺康裕…同窓会事務局次長 高橋智子…事務長 坂本正子…事務次長 荘司和子…職員	7.監査委員 渡辺和昭…前PTA会長 日根浩二…同窓会
2.副会長 3名 藤井是寛…PTA会長 川崎正信…後援会会長 福澤徳治…学校長	5.書記 2名 岡本節子…PTA副会長 佐藤照子…職員	8.校内実行委員 7名(職員) 山口 茂(数学)・ 平川博治(数学)・ 大谷浩二(理科)・ 上野裕之介(社会)・ 佐藤照子(実習講師)・ 荘司和子(助手)・ 白井 孝(書道)
3.事務局 5名 林 陽一…教頭 土屋 誠…同窓会事務局長 永橋智子…事務長 山口 茂…総務部長 白井 孝…職員	6.祝賀会係 3名 小澤 誠…前PTA会長 関喜代子…副会長 榊原啓子…	

実行委員 役員一覧